

第2回地域包括ケア病棟経営対策講座のご案内

～地域包括ケアに取り組んで地域社会の未来を創る PartⅡ～

昨年4月の診療報酬改定において地域包括ケア病棟が新設され、現在では1100を越える医療機関が地域包括ケア病棟を算定しています。平成27年度は介護報酬改定の年にあたり、在宅に重点を置いた地域包括ケアシステム構築の流れが本格化していく中、急性期、回復期、慢性期、在宅の橋渡しをしていく地域包括ケア病棟は、これからまさに「最大で最強の病棟」となるでしょう。国民のニーズに応えるため、病態も規模も多様な病棟が地域包括ケア病棟に参入し、運営のあり方も千差万別です。本研修会では、地域包括ケア病棟の豊富な運営実践事例を知ることで、参加者の皆様の参考となるようプログラムを組んでおります。兵庫県立大学大学院教授 小山秀夫先生から地域包括ケア病棟の位置づけと経営戦略についてご講演いただき、実践事例では、公的病院、民間急性期、民間慢性期の各お立場から地域包括ケア病棟に取り組んでいる先生方にお話しいただきます。皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

地域包括ケア病棟協会

会長 仲井培雄

プログラム（予定）

平成27年6月5日（金） 会場：東京研修センター

10:30～11:00	最大で最強の地域包括ケア病棟	地域包括ケア病棟協会会長	仲井培雄
11:00～12:00	地域包括ケア病棟の位置づけと経営戦略	兵庫県立大学大学院教授	小山秀夫
12:00～12:50	昼食		
12:50～13:50	実践事例①	砂川市立病院 砂川市病院事業管理者	小熊豊
13:50～14:50	実践事例②	HITO 病院 病院長	石川賀代
15:00～16:00	実践事例③	多摩川病院 理事長	矢野諭
16:00～16:30	討論・質疑応答		

*プログラムの内容につきましては、若干変更になる場合があります。予めご了承ください。